

Captiva フィルタバイアル

オートサンプリングバイアルで
サンプルのろ過が可能に



Agilent Captiva フィルタバイアルで GC ワークフローや LC ワークフローの工程を削減：スリット入りセプタムが登場

長いカラム寿命。ダウンタイムの短縮。サンプルの完全性の向上。分析前にサンプルをろ過すると、これらの目標を達成しやすくなります。

Agilent Captiva フィルタバイアルにより、サンプル前処理の手順がこれまで以上に簡単になりました。このバイアルにはろ過機能があり、3 ステップでバイアル内のフィルタ作業が完了します。次のような特長があります。

- **利便性が向上**
フィルタろ過がバイアル内で行われるため、サンプルろ過のための手順とツールを削減できます。
- **よりクリーンなサンプル**
サンプルを扱う際のタッチポイントが少なくなるため、汚染の可能性が低下します。
- **データの品質向上**
わずかな量の粒子でも、カラムの注入口に詰まれば、背圧の上昇やリテンションタイムのシフト、分解能の低下を引き起こす可能性があります。

Agilent
CrossLab

From Insight to Outcome



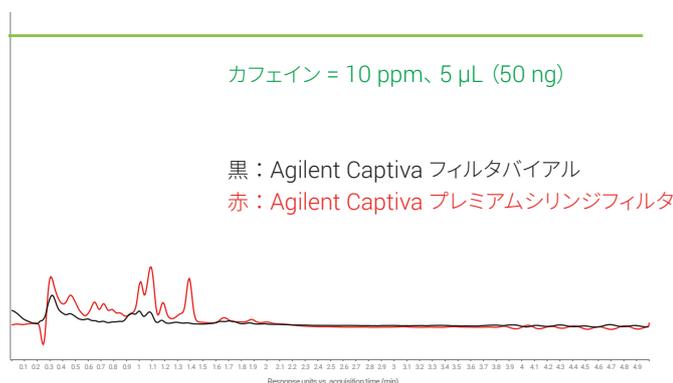
便利な色分け

ポアサイズがセプタムの色で分かります。

- 0.2 μm：白
- 0.45 μm：赤



Agilent Captiva シリンジフィルタとフィルタバイアルは きわめて優れたクリーンさによって質の高い分析結果を実現



緑色の線は、LC DAD 機器での 10 ppm (50 ng) カフェイン溶液の 5 μL の注入を示しています。

Agilent Captiva フィルタバイアルの特長

オールインワンシステムの利便性：

Agilent Captiva フィルタバイアルは、シリンジフィルタ、シリンジ、オートサンプリングバイアル、セプタム、キャップが一体になっており、各ツールを個別に用意する必要がありません。

簡単な 3 ステップ



1. 充填

ピペットでサンプルを充填ラインまで入れます。



2. キャップ

フィルタ付キャップを差し込んでひねり、確実に密封します。



3. フィルタ

ゆっくり 3 秒かけてプランジヤを押し込み、サンプルをろ過します。

オートサンプリングで使用する場合は、ドローポジション（ニードル高さオフセット・吸引位置）を 10 mm に設定し、底面センサーはオフにしてください。

製品情報

説明	部品番号 (スリットなしセプタム)	部品番号 (スリット入りセプタム)
0.45 μm PTFE フィルタバイアル、100 個	5191-5933	5610-2122
0.20 μm PTFE フィルタバイアル、100 個	5191-5934	5610-2123
0.45 μm ナイロンフィルタバイアル、100 個	5191-5935	5610-2118
0.20 μm ナイロンフィルタバイアル、100 個	5191-5936	5610-2119
0.45 μm RC フィルタバイアル、100 個	5191-5939	5610-2124
0.20 μm RC フィルタバイアル、100 個	5191-5940	5610-2125
0.45 μm PES フィルタバイアル、100 個	5191-5941	5610-2120
0.20 μm PES フィルタバイアル、100 個	5191-5942	5610-2121
バイアルクロージングツール ※最大 9 本のバイアルを一度にフィルタ可能です。	5191-5943	



5191-5943 バイアルクロージングツールは最大 9 本を一度にフィルタ可能です

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンター

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

DE30538971

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2022
Printed in Japan, May 1, 2022
5994-0567 JAJP